

ニュートン法の証明(1/3)

- $f(x)=0$ の収束値を x^* とすると, ニュートン法の第kステップでの誤差 r_k は,

$$r_k = x_k - x^* \quad \text{----- (1)}$$

$$\therefore r_{k+1} = x_{k+1} - x^* \quad \text{----- (2)}$$

【テイラー展開】

変数を x とする関数 $f(x)$ について, $x + \Delta x$ あるいは $x - \Delta x$ というように間隔 Δx 移動した場合の関数値 $f(x + \Delta x)$ を, 既知の関数値 $f(x)$ を使って近似すること.

- r_k を用いて, $f(x)$ を $x = x^*$ の周りでテイラー展開すると, 以下のようになる.

$$\begin{aligned} f(x_k) &= f(x^* + r_k) \\ &= f(x^*) + f'(x^*)r_k + \frac{1}{2}f''(x^*)r_k^2 + O(r_k^3) \\ &\approx f'(x^*)r_k + \frac{1}{2}f''(x^*)r_k^2 \quad \text{----- (3)} \end{aligned}$$

- ここで, $f(x^*)=0$ を用いた.

ニュートン法の証明 (2/3)

- 同様にして, $f'(x)$ もテイラー展開すると,

$$\begin{aligned} f'(x_k) &= f'(x^* + r_k) \\ &= f'(x^*) + f''(x^*)r_k + \frac{1}{2}f'''(x^*)r_k^2 + O(r_k^3) \\ &\approx f'(x^*) + f''(x^*)r_k \quad \text{----- (4)} \end{aligned}$$

- ここで, ニュートン法の反復式

$$x_{k+1} = x_k - \frac{f(x_k)}{f'(x_k)} \quad \text{----- (5)}$$

の両辺から x^* を引くと, (1), (2) 式より,

$$r_{k+1} = r_k - \frac{f(x_k)}{f'(x_k)} \quad \text{----- (6)}$$

となり, これに(3), (4) 式を代入すると, 以下のようになる.

$$r_{k+1} = r_k - \frac{f'(x^*)r_k + \frac{1}{2}f''(x^*)r_k^2}{f'(x^*) + f''(x^*)r_k} \quad \text{----- (7)}$$

ニュートン法の証明(3/3)

- 今, 収束値 x^* の十分近くでは, r_k は小さい.
このため, 分母の第2項を 0 として計算すると, (7)式は,

$$r_{k+1} = \frac{\cancel{r_k f'(x^*)} - \cancel{f''(x^*) r_k} + \frac{1}{2} f''(x_k) r_k^2}{f'(x^*)}$$

$$= \frac{1}{2} \frac{f''(x^*)}{f'(x^*)} r_k^2 \quad \text{----- (8)}$$

となる.

- 以上より, ニュートン法は2次収束する解法である.

(証明終)

反復式の求め方

■ ニュートン法の反復式

$$x_{k+1} := x_k - \frac{f}{f'} \Big|_{x=x_k} \quad \text{----- (1)}$$

■ 例: $f(x) = x(x+3)(x-3)$ の反復式の求め方

■ (1)式に $f(x), f'(x)$ を代入して,

$$\begin{aligned} x_{k+1} &= x_k - \frac{x_k^3 - 9x_k}{3x_k^2 - 9} \\ &= \frac{3x_k^3 - \cancel{9x_k} - x_k^3 + \cancel{9x_k}}{3x_k^2 - 9} \\ &= -\frac{2x_k^3}{3(3 - x_k^2)} \end{aligned}$$

振動条件

- 例: $f(x) = x(x+3)(x-3)$ の x が振動, 収束する場合
 - 反復式は下記の通り求めた.

$$x_{k+1} = -\frac{2x_k^3}{3(3-x_k^2)} \quad \text{----- (1)}$$

- 振動条件: $x_{k+1} = -x_k$

$$-x_k = -\frac{2x_k^3}{3(3-x_k^2)}$$

$$\therefore \frac{-9x_k + 3x_k^3 + 2x_k^3}{3(3-x_k^2)} = \frac{x_k(5x_k^2 - 9)}{3(3-x_k^2)} = 0$$

- 破綻条件: (分母)=0 となる $x = \pm\sqrt{3}$ のとき.
- 振動条件: (分子)=0 となる $x = \pm\frac{3}{\sqrt{5}}$ ($x \neq 0$) のとき.
- 収束条件: $|x_k| < \frac{3}{\sqrt{5}}$ で 0 に収束する.